



令和4年度 住吉小学校 グランドデザイン

[教育目標]

助け合い、進んで学習するたくましい子ども

[重点目標 / つけたい力]

将来の自立へ 生きる力をつける

学力の向上

[目指す子どもの姿]

- ★互いの考えを認め、学び合える子ども
- ・学習の基礎・基本を身に付ける力
- ・すすんで家庭学習に取り組む子ども
- ・周りの人の考えを聴き、それに対して自分の考えを話すことができる力

- 1 国語と算数の単元ワークテストの学期全体の学級平均が、全国平均を超える学級の割合を90%以上にする。
- 2 家庭学習に関する保護者アンケートで肯定的回答の割合を80%以上にする。
- 3 児童アンケート(低・中・高)「友だちの話をしっかり聴いたり、自分の考えを話したりできた」の肯定的回答の割合を80%以上にする。

かかわる力の育成

[目指す子どもの姿]

- ★自分もみんなも大切にする子ども
- ・自分の思いを伝えようとする力
- ・なかまの思いを受けとめようとする力

- 1 「安心して話せる雰囲気のある学級だ」と回答する子どもの割合を80%以上にする。
- 2 「みんなが気持ちよく生活するために、学校や学級のきまりを守っている」と回答する子どもの割合を80%以上にする。
- 3 「相手のことを考えた言葉づかいや態度で接している」と回答する子どもの割合を80%以上にする。

体力向上・健康増進

[目指す子どもの姿]

- ★互いのよさを認め、楽しく運動する子ども
- ・友だちのよさを見付け、自分に生かす力
- ・基本的な運動ができる力
- ★正しい生活習慣を身に付ける子ども
- ・1日の生活の仕方を考えて実行する力

- 1 児童アンケート「友だちと体を動かすことができた」の肯定的回答の割合を90%以上にする。
- 2 児童アンケート「『早寝・早起き』の習慣が身に付いている」の肯定的回答の割合を90%以上にする。

成果目標

[取組領域]

[内容]

学習指導

- 住吉授業プランを基にした、主体的、対話的で深い学びの授業の実施
- Web配信集計システムの活用
- 中学校区共通「教師と児童のスタンダード7」の実施
- 個に応じた指導の実施
- 家庭学習の取組支援(家庭学習強調週間の実施)
- タブレットを活用した授業の実施

道徳

特別活動

生徒指導

- 人権や差別の問題を自分の問題としてとらえる「じんけん」学習の充実
- 学級集団、異学年集団の人間関係づくり能力の育成
- 「ここにこタイム」「スマイル班活動」の意図的、計画的実施
- 「チャットタイム」等による相談活動の実施
- 特別支援学級担任による出前授業

食育

体育・保健

- 体育授業におけるグループ学習の活用
- 体育的行事の実施(運動会、体力測定等)
- 家庭と連携したパワーアップ週間の実施
- タブレットを活用した授業の実施

学級経営

認め合い・・・支え合い・・・高め合い
人間関係づくり(仲間づくり)

異学年
交流活動

学年・学級集団

異学年集団

特別支援教育の充実⇒一人一人の教育的ニーズの理解

人権教育、同和教育の充実⇒人権感覚と実践的態度の育成

・一人一人を大切にしたい授業実践 ・自己肯定感の育成

一人一人に寄り添い、響き合う学校

家庭(子育てのパートナー)、地域(運命共同体)と共に

家庭・地域との共育

- 連携の中心に位置付けた学校評議員会
- しばたの心継承Pを核とした地域連携と外部人材活用の充実
- 地域コーディネーターを活かした地域ボランティアとの連携
- 広報活動の充実(学校だより、学校HP、校長だより等)
- 町内会長・民生委員懇談会の実施
- 家庭・地域の願いの受止め

中学校区学校との連携

- 学力向上の推進
- 家庭学習強調週間の実施
- 生徒指導の連携
- 三校連での情報交換
- 中学校区すこやかな子どもを育てる会

市・関係機関との連携

- 市「子どもが輝く新発田の教育」～諸機関、地域団体との連携～
- 幼稚園、保育園との連絡会
- 市隣保館
- 学区内組織・団体との連携(児童クラブ・住吉コミュニティセンター・校区青少年健全育成協議会)

教育の基盤